

基本目標



悠久の歴史と文化、 自然を大切にす るまちにします

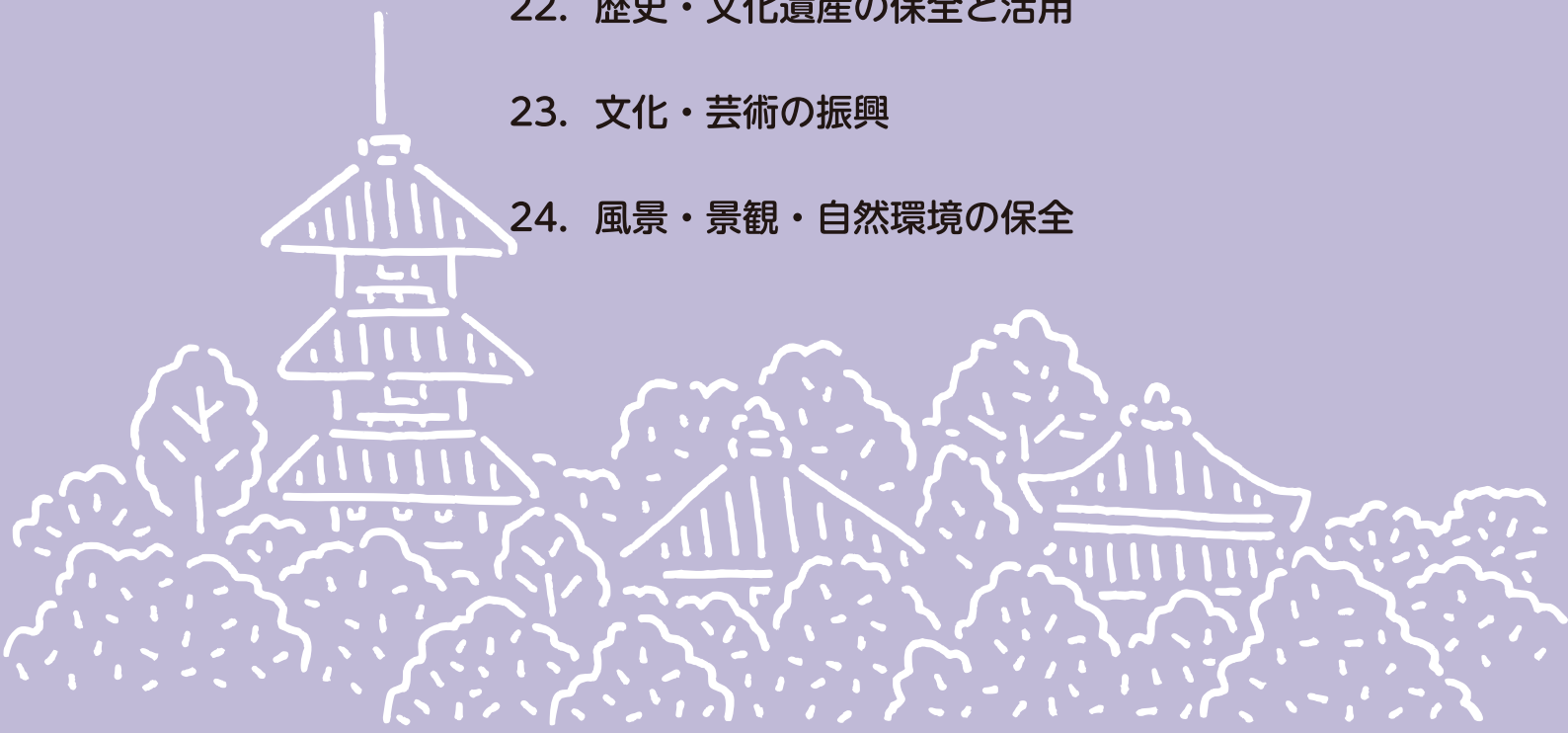
- 先人たちが守り伝えてきた歴史や文化、自然を次世代に継承するため、未来の斑鳩を支え、創り、つなぐことのできる人を育むまちをめざします。
- 斑鳩の魅力を最大限に発信することで、本町に住む人や働く人が、貴重な歴史・文化遺産の中でくらすことに誇りと愛着を持ち、さらに斑鳩の魅力を発信できるまちをめざします。
- 山林・水辺・田園などの豊かで貴重な自然を守り育て、美しい「斑鳩の里」の景観をいつまでも保ち続けるため、自然と共生するまちをめざします。



22. 歴史・文化遺産の保全と活用

23. 文化・芸術の振興

24. 風景・景観・自然環境の保全



■課題

- 悠久の歴史を持ち、聖徳太子ゆかりのまちである本町は、世界遺産や国指定文化財を有しており、地域には数多くの歴史・文化遺産が存在しています。これらは後世に伝えていくべき貴重な財産であることから、その保全をすすめるとともに、積極的な活用をはかることで、住民の意識を高め、共有の財産として次代に継承していく必要があります。
- 本町の豊かな歴史・文化遺産のすばらしさを広く国内外へ発信し、その魅力を貴重な観光資源として世界にアピールするなど、歴史文化資源を生かしたまちづくりが求められています。

■目標とする姿

歴史・文化遺産が保存・継承され、住民や来訪者が文化や伝統に触れることができる環境が形成されています。

そして、貴重な歴史・文化遺産の中でくらすことに誇りを感じ、まちへの愛着を深めています。

■施策体系

1	歴史文化資源の保全
2	歴史文化資源の「魅力」の発進

■政策指標

歴史・文化資源の振興について満足していると思う住民の割合

実績値 (H30)	60.9%	▶	目標値 (R7)	65.0%
-----------	-------	---	----------	-------

■主な取り組み

1 歴史文化資源の保全

- ①町内の各地域で保存・継承されてきた古文書、美術工芸品、考古資料、遺跡などの文化財について、町など指定文化財の候補となる文化財の調査をすすめます。
- ②伝統的な町並みや建築技術、郷土料理など、近世・近代を含めた地域に残る文化財や文化的な資源の調査や研究をすすめ、身近にある文化財の重要性を再認識できるよう案内板の設置などによって啓発に努めます。
- ③西里や東里、龍田などの歴史的な町並みや三井、岡本などの集落景観を保全し、住民とともに斑鳩らしい風景・景観づくりに努めます。
- ④文化財の保全や活用には、住民参加のしくみをつくり、住民とともに、より魅力的で誰もがわかりやすい文化財の活用をめざします。

2 歴史文化資源の「魅力」の発信

- ①歴史文化資源を生かした観光振興など、施策の展開をはかるため、修景支援事業の実施や斑鳩町文化財保存活用地域計画の策定を行います。
- ②史跡中宮寺跡歴史公園は、住民に親しまれる公園として適切な維持管理を行うとともに、歴史を身近に感じられる観光資源として活用します。
- ③斑鳩を訪れる人だけでなく、住民も斑鳩の歴史と文化について理解できるように、斑鳩文化財センターや法隆寺 i センター、聖徳太子歴史資料室などの拠点施設において、より魅力的な歴史と文化の情報を発信します。
- ④ホームページや町広報紙、マップやリーフレットのほか、働く世代・若年層を含め、より幅広い世代に魅力的な情報発信をするため、SNS*をはじめとした、多様な情報媒体を活用します。
- ⑤斑鳩の魅力を伝えるウォークや史跡藤ノ木古墳石室特別公開、斑鳩文化財センター展示会、太子の日フォーラムなどの催しについては、町内外の人が斑鳩の歴史と文化の魅力を体験できるよう、質の向上をはかります。
- ⑥情報の発信は、住民参加のしくみをつくり、住民とともに活用をすすめることで、より多様な魅力的な情報発信をめざします。
- ⑦斑鳩文化財センターや法隆寺 i センター、いかるがホールなどの施設や史跡藤ノ木古墳などが歴史と文化の拠点としてよりよい活用がはかれるよう、住民参加のしくみをつくりま

文化・芸術の振興



■課題

- 心豊かで潤いのある住民生活や個性豊かで活力あふれる地域づくりを実践していくために、多様な文化活動を促進する必要があります。
- 各文化施設は、次代を担う子どもや若者をはじめ、さまざまな世代に利用してもらえる工夫が必要とされています。

■目標とする姿

住民の多種多様な文化活動や、個性豊かな地域づくりの実践により、文化が薫る豊かなまちが形成されています。

■施策体系

1	文化・芸術に親しめる環境づくり
2	文化・芸術活動の支援

■政策指標

文化・芸術の振興について満足していると思う住民の割合

実績値 (H30)	61.3%	▶	目標値 (R7)	65.0%
-----------	-------	---	----------	-------

■主な取り組み

1 文化・芸術に親しめる環境づくり

- ①いかるがホールや中央・東・西公民館などを活用し、さまざまな分野の質の高い文化・芸術に身近にふれる機会を充実させます。
- ②文化事業の企画や運営に住民が参加できる体制づくりをすすめ、住民と行政が一体となって文化の振興に努めます。
- ③いかるがホールの計画的な施設管理を行い、文化・芸術活動の拠点として利用しやすい環境を提供します。

2 文化・芸術活動の支援

- ①文化振興活動育成事業補助金交付制度の周知をはかり、住民の自主的な文化・芸術活動の育成や支援を行います。
- ②文化・芸術活動の指導者をはじめ、人材の発掘や確保にむけた登録制度を確立するとともに、団体間や指導者と団体のネットワークをひろげ、活動の充実をはかります。
- ③住民の身近な文化・芸術活動の場として、各公民館で公民館教室を開講し、自主的な活動を支援します。
- ④ホームページや町広報紙などの内容の充実に努め、イベント情報や文化・芸術活動の情報などを町内外に広くわかりやすく提供します。
- ⑤斑鳩らしい文化が香るまちづくりをすすめるため、印刷物やホームページなど、行政のあらゆる面にデザイン性が高い情報発信をめざします。



■課 題

- 本町は、歴史的風致維持向上計画*の認定を受けるなど、歴史的な町並みを有しており、こうした景観を住民共有の財産として守り、歴史や自然と調和した景観形成に努めることにより、斑鳩町独自の魅力を向上する必要があります。
- 山林を保全するための里山整備について、ボランティア団体の高齢化にともない、次世代への継承が課題となっています。

■目標とする姿

「斑鳩の里」にふさわしい歴史的な街並みや風景・景観、自然環境がくらしと調和したまちが形成されています。

■施策体系

1	斑鳩の里にふさわしい景観づくり
2	自然環境の保全と活用

■政策指標

「斑鳩の里」にふさわしい景観や自然環境に関する取組みについて満足していると思う住民の割合

実績値 (H30)	59.6%	▶	目標値 (R7)	65.0%
-----------	-------	---	----------	-------

■主な取組み

1 斑鳩の里にふさわしい景観づくり

- ①法隆寺をはじめ法起寺、法輪寺周辺などの歴史的景観と自然環境や田園風景が一体となった斑鳩の里の風景・景観の保全に努めます。
- ②歴史的な町並みが残されているところでは、景観形成作物の普及や町並み・道路景観の整備など斑鳩らしい風景・景観の保全や整備に努めます。
- ③斑鳩の里の風景として重要な要素となる田園風景の保全や形成にむけ、農地の保全に努めます。

2 自然環境の保全と活用

- ①JR法隆寺駅周辺地区は、斑鳩の里の歴史的な町並みや風景・景観との調和をはかりながら斑鳩の玄関口としてふさわしいにぎわいと活力のある市街地景観を形成します。
- ②住宅地については、風致地区条例や景観計画などを活用し、地域特性にあった規制や誘導をはかり、自然と調和した潤いのある景観の形成に努めます。
- ③公共施設の周辺や公園、広場などを生かし、身近な緑化を行うことで、潤いのある景観づくりをすすめます。
- ④道路には、街路樹を整備するとともに、建物の意匠・形態、広告や看板なども景観に配慮するよう、住民や事業者への協力を求めて沿道景観を整えます。
- ⑤山林を保全するため、地域林政アドバイザー制度*を活用し、里山の整備などの取組みを住民とともにすすめながら、自然災害の防止や二酸化炭素の吸収・貯蔵など、さまざまな機能を有する山林の保全に対する住民意識の高揚をはかります。
- ⑥現行の自然環境保全に関連する制度に基づき、住民と行政が一体となって自然環境の保全に努めます。
- ⑦自然と人とのふれあいを促進するため、野外観察、自然探求など住民の自然環境に親しむ活動等を支援します。
- ⑧河川は水系を保全しながら、生活圏を流れる自然環境として保全・整備します。
- ⑨いかるが溜池については、県自転車道が隣接することから、水資源や防災上の機能に加えて、水辺を生かした親水性や親緑性を高めた公園としての機能も持たせ、観光ルートやマラソコースとして位置づけ、より多くの住民・観光客に利用していただくよう活用します。
- ⑩公園や緑地など、身近に自然に親しむことのできる環境の保全に努めます。
- ⑪自然資源に親しみ、理解を深めるため、地域の自然資源の情報収集と整理を行い、そうした情報を住民参加で発信するための人材育成に取り組みます。
- ⑫花と緑あふれる潤いのある地域づくりにむけ、道路や河川、公共施設や住宅地において、その景観や機能に応じた植物の種類や手法を選択し、住民と行政が一体となった緑化をすすめます。
- ⑬身近な緑化をすすめるため、活動の核となる組織の育成と支援を行います。また、住民が計画し、楽しみながら活動するコミュニティガーデン*などの取組みをすすめます。

